

それでもなお

■逆説の10カ条

私は各種会合や式典でのあいさつや全市職員への訓示などで、ケント・キースの「それでもなお」で表現される「逆説の10カ条」をたびたび引用します。先ずはご一読ください。

- 1 人は不合理で、わからず屋で、わがままな存在だ。それでもなお、人を愛しなさい。
- 2 何か良いことをすれば、隠された利己的な動機があるはずだと人に責められるだろう。それでもなお、良いことをしなさい。
- 3 成功すれば、嘘の友達と本物の敵を得るだろう。それでもなお、成功しなさい。
- 4 今日の善行は、明日になれば忘れてしまうだろう。それでもなお、良いことをしなさい。
- 5 正直で素直なありかたは、あなたを無防備にするだろう。それでもなお、正直で素直なあなたでいなさい。
- 6 最大の考えを持った最も大きな男女は、最小の心を持った最も小さな男女によって撃ち落とされるかもしれない。それでもなお、大きな考えを持ちなさい。
- 7 人は弱者を臍屜にはするが、強者の後にしかついていけない。それでもなお、弱者のために戦いなさい。
- 8 何年もかけて築いたものが、一夜にして崩れるかもしれない。それでもなお、築き上げなさい。

お、築き上げなさい。

- 9 人が本心に助けを必要としていても、実際に助けの手を差し伸べると攻撃されるかもしれない。それでもなお、人を助けなさい。
- 10 世界のために最善を尽くしても、その見返りにひどい仕打ちを受けるかもしれない。それでもなお、世界のために最善を尽くしなさい。

この10カ条はとても重みがある内容だと思います。ただ、この内容の奥深さもさることながら私が感銘を受けたのは、かの有名なマザー・テレサがインドのカルカタ（現・コルカタ）のスラム街にある孤児院の壁にこの言葉を掲げていたことを知ったからです。

考えてみてください。そこは孤児の家です。貧困と苦悩に苛まれ、その日を生きていくことで精一杯な子どもたちです。そんな子どもたちに彼女は無私心を伝えようとしていたのです。

■「分け合えば」

- | | |
|----------|----------|
| 奪い合えば足らぬ | 分け合えば余る |
| 奪い合えば争い | 分け合えば安らぎ |
| 奪い合えば憎しみ | 分け合えば喜び |
| 奪い合えば不満 | 分け合えば感謝 |
| 奪い合えば戦争 | 分け合えば平和 |
| 奪い合えば地獄 | 分け合えば極楽 |

コロナ禍といった災害だけでなく、人はいろいろな困難や苦痛に直面すると底

知れぬ不安と恐怖を感じます。そして、そのストレスを外に向けることで心の安定を取り戻そうとします。ただ、ときにそれは攻撃的かつ利己的であるために周囲とトラブルとなり、紛争へとエスカレートしていくことがあります。

このときに思い出すのが、前述の詩、相田みつをの「分け合えば」です。「少欲知足」という仏教の教えが元になったこの詩は、前述の逆説の10カ条と読み合わせるとさらにその意味の深さを知ることができると思います。

■利他の精神を再び

いま世界はコロナ禍に苦しんでいます。さらにはたった一人の暴君が引き起こした戦争が世界を大混乱に落とし入れています。武力による現状変更を許せば国際秩序は崩壊してしまいます。経済相互依存が進む国際社会において、20世紀的な冒険主義を選択する指導者を私たちは決して認めてはなりません。時計の針を戻してはならないのです。

今こそ私たちは「少欲知足」、「互譲の精神」、そして「利他の精神」を思い返す必要があると思います。



にかほ市長
市川雄次

創造を

想像する

市政運営から日常の出来事まであらゆるテーマをコラムにしています。過去のコラムは市HPからご覧いただけます。

